

# しらぬか

# 議会

NO.146  
2019.10.25

# だより

- 2 平成 30 年度決算の概要
- 6 令和元年第2回臨時会
- 7 アントキノシツギ「信号機の設置について」他2件
- 10 令和元年第3回定例会 一般質問9名
- 20 委員会の動き
- 23 町民と議会の懇談会〔開催案内〕
- 24 「味そば処 三浦」白糠いい店こんな店



## 交通ルールを守ってね

(「旗の波作戦」に参加する白糠保育園児)

### 救急・消防には？

#### 消防業務の委託

○消防人件費 2億 5,736 万円  
 ○事務費等 1,736 万円  
 ○委託管理費 2,121 万円  
 本町に本部を置いていた鉦路西部消防組合が平成 17 年に解散となり、現在は常備消防の業務を鉦路市に委託しています。

2億 9,593 万円

(町 2億 9593  
前年 2億 9154)

担当：地域防災課消防調整係

#### 消防設備の整備

○消防団等の装備更新 572 万円  
 ○消防庁舎改築事業 8,170 万円  
 消防庁舎の移転改築による地域防災拠点の整備を図るため、基本設計等の委託業務を実施。

8,742 万円

(補 846 町 2486  
起 5410  
前年 4798)

担当：地域防災課消防調整係

### 生活環境には？

#### し尿処理

○し尿汲み取り費用 6,304 万円  
 ○合併処理浄化槽補助金 374 万円

6,678 万円

(町 2909  
起 100 他 3669  
前年 6156)

担当：町民サービス課生活環境係

#### ごみ処理

○ごみの収集・処理 1億 6,328 万円  
 ○地域環境整備助成金 214 万円  
 ○環境衛生会への助成 45 万円

1億 6,587 万円

(町 1億 3139 他 3448  
前年 1億 7927)

担当：町民サービス課生活環境係

## 平成 30 年度

# 決算

## まちのお金は 何に使った？

# PICK UP!

### 公共施設には？

#### 道路・橋・河川の管理

○道路維持・改良舗装 4億 1,435 万円  
 ○橋の架換・補修 2億 687 万円  
 ○河川管理・排水路整備 1億 7,103 万円

7億 9,225 万円

(補 1億 8824 町 2億 9431  
起 2億 470 他 1億 500  
前年 6億 1664)



オンネチカップ線1号橋

担当：建設課土木都市計画係

道路の維持については草刈りや補修、除雪等にかかる経費です。  
 橋についてはオンネチカップ線1号橋の架換等を行いました。

#### 施設の管理

○公営住宅の改修費 2,500 万円  
 ○公園遊具等改修 7,705 万円  
 ○各集会所の管理 853 万円  
 ○その他の施設管理 4,473 万円

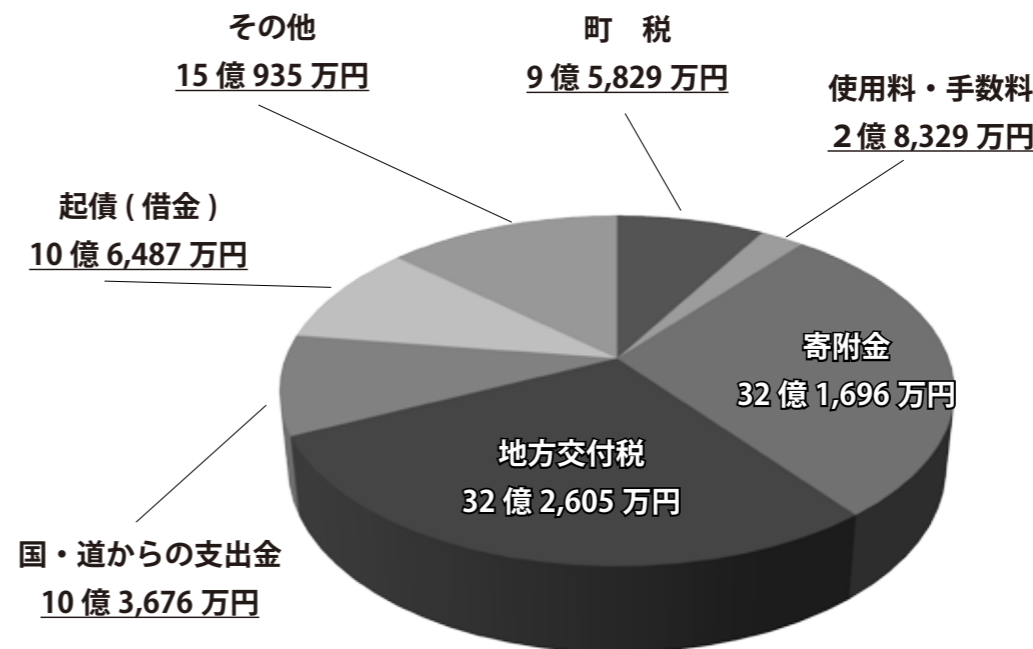
1億 5,531 万円

(補 2906 町 2286  
起 1億 210 他 129  
前年 1億 3737)

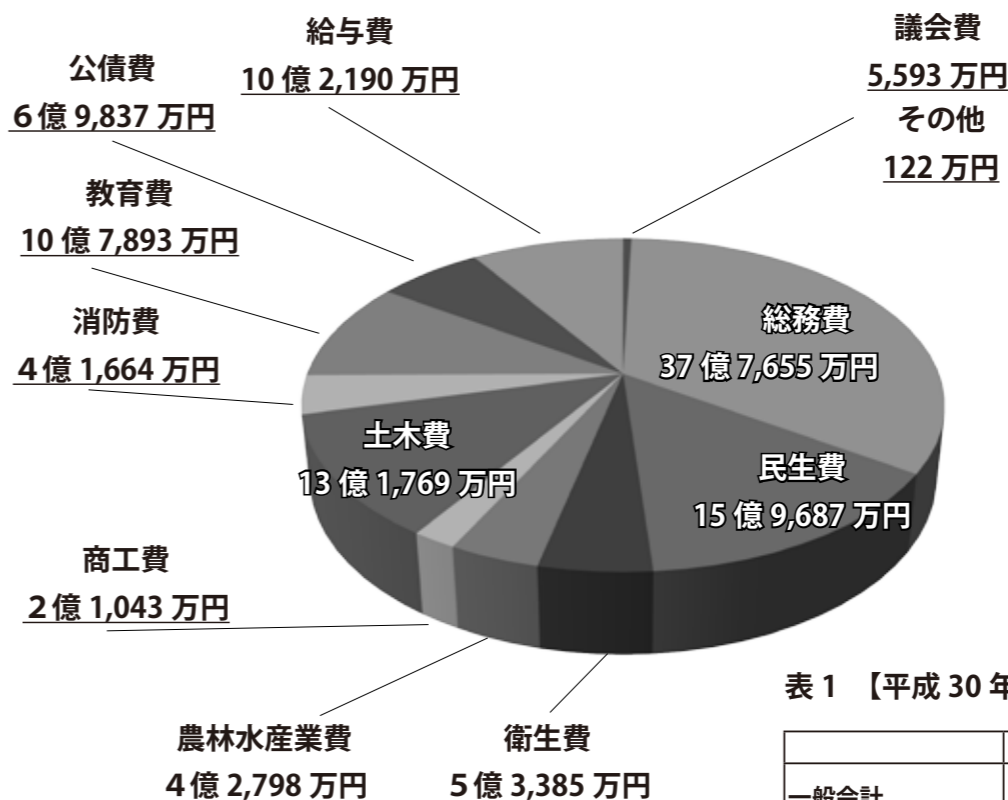
担当：建設課土木都市計画係

住宅管理係  
企画財政課地域振興係

### ▼一般会計歳入 112 億 9,557 万円



### ▼一般会計歳出 111 億 3,636 万円



平成 30 年度末基金合計 44 億 9,168 万円

前年比 9 億 6,633 万円の増 ↑人口 1 人当たり※約 57 万円

平成 30 年度末起債残高 110 億 679 万円

前年比 4 億 1,593 万円の増 ↑人口 1 人当たり※約 140 万円

※平成 30 年度末人口 7,821 人

※この内、交付税の計算に算入される優良債がおよそ 8 割を占めます。

表 1 【平成 30 年度各会計決算額】

	歳入	歳出	差し引き
一般会計	112 億 9,557	111 億 3,636	1 億 5,921
国民健康保険特別会計	10 億 5,350	10 億 5,277	73
簡易水道及び飲用水道供給事業特別会計	4,318	4,101	217
公共下水道事業特別会計	5 億 7,640	5 億 7,113	527
介護保険特別会計	10 億 563	9 億 8,602	1,961
後期高齢者医療特別会計	1 億 3,133	1 億 3,123	10
合計	141 億 561	139 億 1,852	*1 億 8,709

(※1 残金については、翌年度へ繰り越しました。)

# 平成 30 年度決算の概要 ふるさと納税 寄附額 32 億円突破!!

(内は財源内訳と前年実績額)

「補」は国や北海道からの補助金、「町」は税金等の町のお金、「起」は起債・借金、「他」は団体補助金・利用者負担等、単位は万円

### 文化活動団体への助成



525 万円  
(町 365 起 160 前年 547)

担当：社会教育課文化振興係

- 郷土芸能振興会への助成 44 万円
  - 総合文化祭等の開催 131 万円
  - 観光地域づくり推進事業 350 万円
- 観光地域づくり推進事業では、アイヌ三大祭の伝承記録の作成やアイヌ文化体験事業、八王子市と白糠町子ども交流事業を実施しました。

### その他

#### ふるさと納税

20 億 6,754 万円  
(他 20 億 6754 前年 15 億 7215)

担当：企画財政課  
ふるさと納税推進係

- 寄附額 32 億 1,271 万円
- 寄附額の内左記を返礼品代等として、残りの 11 億 4,517 万円を町の基金に積み立てしました。

#### 工業用水道

9,189 万円  
(町 9189 前年 9766)

担当：企画財政課企業誘致係

- 釧路白糠工業用水道企業団負担金 9,189 万円
- 釧路・白糠工業団地へ工業用水を供給している企業団に対し、釧路市と使用水量の推計按分等で負担金を支出しています。

#### 人件費

12 億 5,136 万円  
(補 2488 町 11 億 5626 他 7022 前年 12 億 6280)

担当：総務課職員係ほか

- 議員・各委員等報酬 1 億 6,120 万円
  - 職員給料・手当 8 億 92 万円
  - 共済費等 2 億 8,924 万円
- 職員給料・手当は退職等により年々減少しており、併せて共済費等も減少したことから、前年の人件費を下回りました。

### 健康管理と介護

1 億 9,899 万円

(補 25 町 1 億 9773 他 101 前年 2 億 825)

担当：介護健康課

- がん検診・基本健診等 2,285 万円
  - 介護保険会計への支出 1 億 7,173 万円
  - 保健施設の管理 441 万円
- 健康診査事業のほか、予防接種事業やがん検診を実施しました。

### 教育には？

#### 庶路小中学校外の改築



3 億 5,497 万円

(補 1 億 3887 町 3630 起 1 億 7980 前年 19 億 4801)

担当：教育委員会管理課学校建設係

- 庶路小中学校の解体 3 億 3,701 万円
  - 庶路幼稚園の解体 1,796 万円
- 庶路学園供用開始に伴い、庶路小学校及び庶路中学校の校舎・屋体を解体しました。
- 庶路こども園の開園に伴い、平成 29 年度をもって廃止となった庶路幼稚園の園舎も、今後の利活用が見込まれないことから解体しました。

#### 教育環境

6,731 万円

(補 4 町 6727 前年 6916)

担当：教育委員会管理課学校教育係

- 就学の支援 569 万円
  - 教育環境の充実 3,445 万円
  - 白糠高校の魅力化 2,717 万円
- 入学支援金として、児童・生徒 1 人につき 2 ～ 3 万円の商品券を配布しています。

### 文化・スポーツには？

#### スポーツ施設の管理

1 億 3,246 万円

(町 8809 起 4420 他 17 前年 8659)

担当：社会教育課スポーツ推進係

- 総合体育館やパークゴルフ場等の管理 6,556 万円
- 温水プールの運営 2,872 万円
- 温水プールの改修事業 3,818 万円

### 出産・子育てには？

#### 出産支援

393 万円

(補 10 町 353 起 30 前年 210)

担当：介護健康課健康管理係  
健康相談係

- 不妊治療費の助成 171 万円
- 妊産婦の交通費助成 20 万円
- 母子健康手帳交付等 77 万円
- 出産祝い金 125 万円

#### 子育て支援



3 億 1,838 万円

(補 9903 町 1 億 7883 起 3700 他 352 前年 2 億 6212)

担当：福祉課児童福祉係  
学校給食センター

- 保育園の運営等 2 億 565 万円
  - 児童館の運営等 3,402 万円
  - 保育料の無料化 2,070 万円
  - 給食費の無料化 2,048 万円
  - ふれあい児童館改修事業 3,753 万円
- 白糠保育園等の運営のほか、国の制度に基づき私立幼稚園及び私立保育園に対しても運営に必要な支援をしました。また、平成 30 年度より、すべての子どもの保育料・給食費を無料化しました。

### 医療・健康・介護には？

#### 医療費の助成等

2 億 9,636 万円

(補 1 億 586 町 1 億 7865 起 790 他 395 前年 3 億 957)

担当：町民サービス課保険年金係、福祉課社会福祉係・児童福祉係

- 国民健康保険特別会計への支出 8,669 万円
- 後期高齢者医療特別会計等への支出 1 億 4,440 万円
- 重度心身障がい者医療費の助成 1,874 万円
- 子どもへの医療費の無料化 2,076 万円
- ひとり親家庭等医療費の助成 461 万円
- リハビリテーション医療の支出 2,116 万円

### 産業振興には？

#### 商業振興



4,333 万円

(補 45 町 2538 起 1750 前年 4354)

担当：経済課商工係

- 商工会等への補助金 2,909 万円
- しらぬか魅力発信事業 1,332 万円
- 広域的な連携 92 万円

魅力発信事業としてプロモーション活動費等を支出したほか、広域的な連携として東京都荒川区で地場産品の物販を行いました。

#### 農業振興

7,590 万円

(補 4312 町 2090 他 1188 前年 8093)

担当：経済課農政係

- 新産業構築事業 213 万円
- 道営草地整備事業 1,405 万円
- 農業振興団体協議会への助成 381 万円
- 農業者・集落等への支援 5,591 万円

#### 林業振興

1 億 1,950 万円

(補 5222 町 3523 起 1450 前年 8821)

担当：経済課林業係

- 林業団体への支援 197 万円
- エゾシカ被害対策 4,352 万円
- 民有林の整備 372 万円
- 町有林の整備 5,274 万円

#### 水産業振興

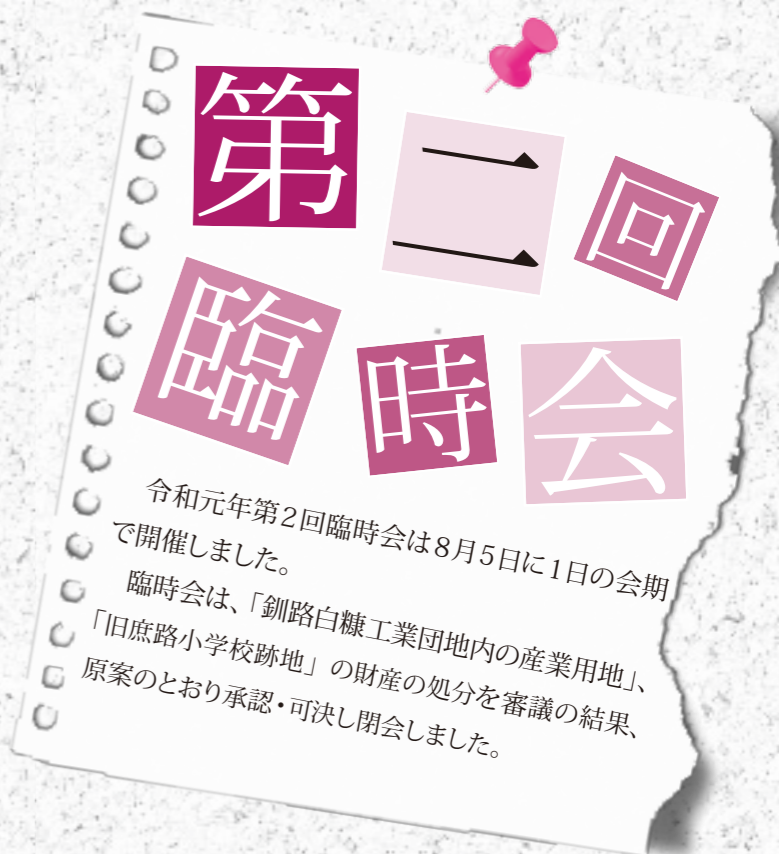


3,539 万円

(町 860 他 2679 前年 7 億 8044)

担当：経済課水産係

- さけ中間育成施設・しゃも人工ふ化場管理 598 万円
  - マツカワ種苗購入事業の支援 100 万円
  - 操業用機器の整備支援 262 万円
  - 荷さばき施設等の整備支援 2,579 万円
- 荷さばき施設等の改築事業に際し、第一次産業の振興の中心的役割を担う白糠漁業協同組合に対し支援をしました。



## 財産の処分

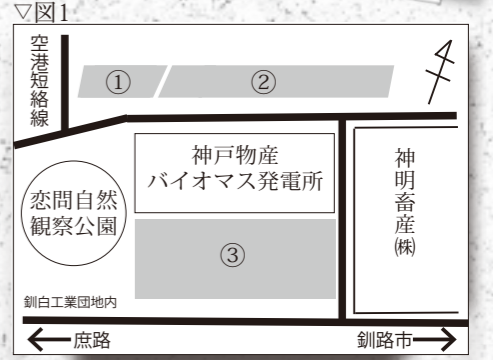
### ◆産業用地の売買

令和元年7月8日に食肉加工製造等に係る事業用地として、株式会社町おこしエネルギー代表取締役社長沼田昭二氏と仮契約し、6万4930平方メートル、図1中①を2005万円で売買、9万3793平方メートル、図1中③を9379万3千円で売買。

### 質疑・答弁

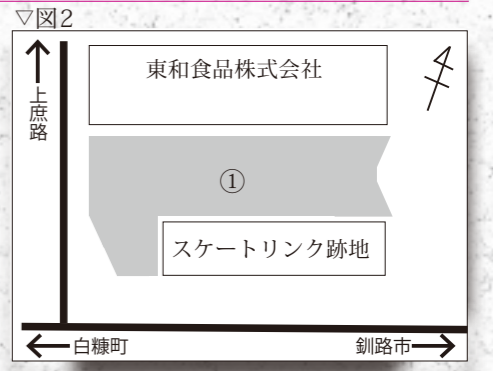
◆今の段階での事業計画等。圏現段階では、食肉加工製造に係る事業用地ということ、この食肉というのは馬肉のことです。施設整備についても、今段階では、はっきりと明示できない。

◆どの程度、肥育されようとしているのか。圏年間200頭から300頭を目標に加工をする。1日最大で3頭ぐらいの施設をめざしたいと聞いている。



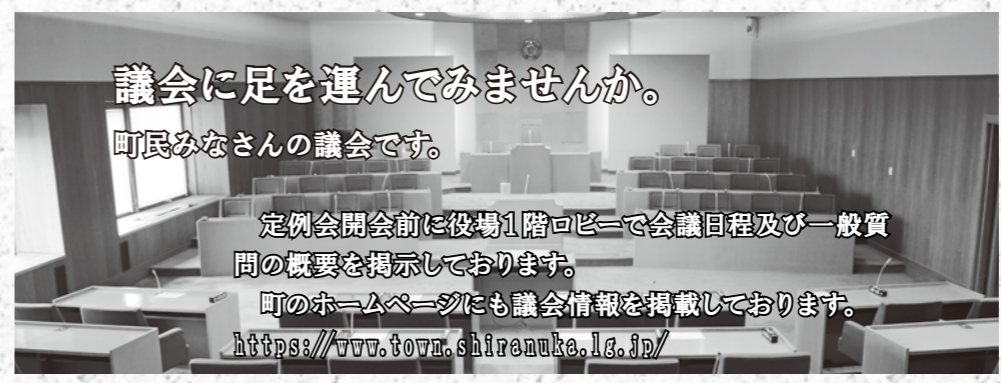
### ◆旧庶路小学校跡地の売買

令和元年7月5日に水産食品加工製造に係る事業用地として、東和食品株式会社代表取締役岩田敏明氏と仮契約し、2万4097平方メートル、図2中①を2915万円で売買。



### ※お詫びと訂正

前号、新議員紹介5ページの小野キサ議員の②抱負政策の中で「町制執行」が「町政執行」に、6ページの福地議員の④白糠のおすめ、良いところなどの中で「全肥を投入していない地で世界に伍す。」の記載がありました。金肥を投入していませんが、「世界に伍す。」の誤りでした。お詫び申し上げます。訂正させていただきます。



- ### 傍聴者へのお願い
- 1 帽子、オーバーコート等は着用しないで下さい。
  - 2 開議中は、飲食又は喫煙はできません。
  - 3 携帯の持ち込みはご遠慮ねがいます。
  - 4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけないようにして下さい。

# 追跡

## アントキノシツギ

### あの案件はどうなった？

過去の質問・質疑の中から、あの質問等がその後どうなったのかを調査する

「追跡 アントキノシツギ」今回は、3件の質問を追跡しました。

### 追跡① 信号機の設置について

●平成23年第3回定例会  
富田議員の一般質問

当時の質疑・答弁（抜粋）  
●庶路3号橋が完成した。これに伴い明治通りは、一部未完成であるが、本年4月1日より全線を通して暫定的に開通された。このことにより交

通量も増加したことから、明治通りと道道上庶路路停車場線との交差点は、一時停止の標識はあるものの、車輛同士の接触事故が多発している。交差点に信号機を設置すべきと思うが伺う。

○明治通りの完成に伴い、交通量の増加が予想されることから、平成21年より信号機の新設と、一時停止線の表示など、交通規制については釧路警察署及び公安委員会等との要望、協議を取り進めてきた。警察署としては、現在の明治通りに関しては、信号機を設置するまでの交通量には至っていない。今後、交通量等の変化を見ながら、警察署及び公安委員会等と信号設置のほか、必要な協議を行いたい。

### ○追跡の結果

◆待望の信号機が遂に設置された

平成31年1月30日から町道明治通りと道道上庶路路停車場線の交差点に信号機が設置され、子供たちも安心して横断できるようになりました。



△明治通りと道道上庶路路停車場線との交差点の信号機

### 追跡② 速度制限について

●平成30年第3回定例会  
中村議員の一般質問

当時の質疑・答弁（抜粋）  
●庶路宮下明治通りで最近まで数件の交通事故があった。4月より、庶路学園ができて通学路になっているが、事故撲滅と交通安全を考えると、通学路を40キロ以下の制限に要請できないか伺う。

○交通安全の増加に伴う交通事故防止対策として、この沿線自治体である宮下町内会とも協議の上、平成25年7月2日付で宮下地区の交通安全施設等の設置について要望書を釧

路警察署署長あてに提出した。釧路警察署では、道道上庶路路路停車場線の交差点に4点式の信号機が設置されるため、信号機の設置後の動向も確認した上で、検討する。

### ○追跡の結果

◆道路規格が適正のため速度規制できず

北海道釧路方面釧路警察署が、令和元年7月に交通量調査をした結果、歩行者が少なく交通量も少ない。また、道路規格がしっかりしているため、「速度規制はできない。」との回答があった。

### 追跡③ 就学援助費の支給月を早めては

●平成27年第4回定例会  
鎌田議員の一般質問

○就学援助の支給月については、事務処理要領に定められていると思うが、学用品等の購入でお金の必要な新学期に間に合うように支給してほしいとの要望がある。これは、

前年度の所得を確認した上で決定することになっているのが難しいことだとは思いますが、就学援助費を立て替えて仮に支給することも考えられるが伺う。

○小学校又は中学校に入学した児童生徒の保護者に対して、新入学児童生徒学用品費として、7月に支給をしている。3月以前の支給は、転出等で4月になって本町の小中学校に入学しなかった場合などに、援助費の返還が生ずるという課題もあり、現状は「立て替え支給や前倒しで支給することは難しい」と考える。税の担当部局と連携・協力し、支給時期を早める努力をする。

### ○追跡の結果

◆支給月が2月に入学準備に間に合った

平成30年度入学児童生徒より就学援助費のうち新入学児童生徒学用品費の支給月が2月となり、新学期の学用品の準備に間に合うようになった。

# 第三回 定例会

令和元年第3回定例会は9月9日に開会し、同13日に閉会しました。初日は行政報告、一般質問のほか、平成30年度の決算認定を特別委員会に付託しました。3日目は一部事務組合の派遣議員が選任されました。その他4件の議案を審議の結果、原案のとおり承認・可決し閉会しました。

## 元年度補正予算

◇冬期間の除雪費用として、8000万円を補正して、

一般会計補正予算において、鉄北集会所改築として4650万円、農業者へ支払われる中山間地域等直接支払交付金で4406万円、冬期間の除雪費用で8000万円、白糠小中学校外統合事業基本設計等業務で3433万円、白糠消防庁舎地中熱ヒートポンプ設備設置工事で3億800万円の減額等、合

### 質疑・答弁

計9790万円を追加し総額118億7874万円としました。

◇白糠高校の70周年記念事業

●記念事業補助金の中身と70周年記念事業が行われるのは、何月何日なのか。  
●記念誌の事業費で、単価600円を500冊印刷し、30万円の3分の1の10万円を補助する。記念式典は、本年11月23日土曜日となっている。

## 条例改正

◇消費税率及び地方消費税の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例

利用料金等11本の条例については、令和元年10月1日からの消費税8%から10%の変更に伴い利用料金等の改正をしました。  
(詳細は広報10月号を参照)

◇白糠町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

住民票、個人番号カード等への旧氏の記載が可能となり、印鑑証明にも旧氏を記載することが出来るようになりました。また、「印鑑登録原票」および「証明書の性別表記」における男女の別の表示を廃止しました。

◇町税条例等の一部を改正する条例の制定

主に町民税、軽自動車税等の改正をしました。

◇生き生きしらぬか日帰り温泉事業

●事業の日程とこの温泉なのか。  
●10月の下旬を予定し、行き先の温泉は、弟子屈町川湯温泉を予定している。

●480人を予定しているが、この人数については、何日かに分けて対応するのか。また、対象者の人に案内をし、参加者を募るのか。

●480人になると、一日では難しいので、3日くらいに分けることを想定している。対象となる方に通知し、参加を募る。参加者に再度、参加の確認をする。  
(後日、日程は11月5、7日に決定)

◇鉄北集会所改築事業

●鉄北集会所の備品関係、どういうようなものを揃えようとしているのか。  
●椅子100脚、会議用の折り畳みテーブル20台のほか、冷蔵庫、カーテン関係、掃除機関係備品の購入を予定している。

◇白糠町保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例

用語の整理による改正をしました。

◇白糠町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

食事の提供に要する費用の取扱いを変更する改正をしました。

◇白糠町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例

市町村民税世帯非課税者である教育・保育保護者につきまして、利用者負担上限額を「零」とすることを新たに追加する改正をしました。

◇アイヌ文化等の情報発信業務

●アイヌ文化等の情報発信業務内容を詳細に。  
●国際放送の番組を制作し世界に向けて放送をする内容で、しらぬか三大祭りの映像を活用して30分番組を制作する。町内でアイヌ文化の体験ができるというPRの番組をあわせて制作し、国際放送する。また、制作した番組をPR用にDVDの作成も進めたいと考えている。

●アイヌの人たちの意向、要望がどこまで反映されているのか。  
●圏経済効果を生む事業も推進推奨していく必要がある。協会とは十分連携をとりながら協議し、事業を進めている。

◇栄橋通り改良工事 (2億3045万円)

本年8月27日に入札執行した栄橋通り改良工事の請負契約を締結。

## 契約の締結

スポーツ国際交流員マデ・チャンドラ・ペラタさんが、8月に着任しました。  
チャンドラさんは、インドネシア共和国バリ島シンガラジャ市の出身のバドミントン選手として、数々の国際大会出場し活躍していました。

◇教育委員会教育長の任命

12月2日に任期満了を迎える教育委員会教育長について、新たな任命の同意をしました。  
●川島 眞澄 氏(再任)

◇教育委員会委員の任命

9月28日に任期満了を迎える教育委員会委員について、新たな任命の同意をしました。  
●鍛冶 恵子 氏(再任)

◇固定資産評価審査委員会委員の選任

9月30日に任期満了を迎える固定資産評価審査委員会委員の選任の同意をしました。  
●後藤 毅俊 氏(再任)

◇白糠町立白糠保育園及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

◇「白糠町立白糠保育園」及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

◇白糠町立白糠保育園及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

◇白糠町公の施設に係る指定管理者の指定事項の変更

「白糠町栄1区パークゴルフ場」が閉鎖され「逍遙公園パークゴルフ場」が新設されたことにより、管理施設名称及び施設の位置の変更を行いました。

◇白糠町立白糠保育園及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

◇白糠町立白糠保育園及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

◇白糠町立白糠保育園及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

◇白糠町立白糠保育園及び「庶路こども園」施設用地無償貸付

●地目が山林となっているが地目変更しないのか。  
●園土地として分筆をしており、これらの分筆とあわせて地目変更を速やかに行う。

## 行政報告

◇地熱資源調査の実施  
地熱利用の可能性について調査を行う報告がされました。

◇スポーツ国際交流員の着任  
スポーツ国際交流員マデ・チャンドラ・ペラタさんが、8月に着任しました。



マデ チャンドラ ペラタさん

◇白糠町議会行政視察  
日時：令和元年11月15、17日  
場所：八王子市  
対象：総務文教常任委員会  
2人

◇釧路町村議会議員研修会  
日時：令和元年11月19日  
場所：鶴居村  
対象：議員全員

◇白糠町議会行政視察  
日時：令和元年11月15、17日  
場所：八王子市  
対象：総務文教常任委員会  
2人

◇釧路町村議会議員研修会  
日時：令和元年11月19日  
場所：鶴居村  
対象：議員全員

◇白糠町議会行政視察  
日時：令和元年11月15、17日  
場所：八王子市  
対象：総務文教常任委員会  
2人

◇釧路町村議会議員研修会  
日時：令和元年11月19日  
場所：鶴居村  
対象：議員全員

◇スポーツ国際交流員の着任  
スポーツ国際交流員マデ・チャンドラ・ペラタさんが、8月に着任しました。

# 一般質問

議員9名が28件37項目について質問しました。  
※一般質問～1人90分以内で、町長等に対して広く町政に関する説明を求めます。

- |            |                          |     |    |
|------------|--------------------------|-----|----|
| 1 澤原 孝行 議員 | ●しらぬか健康ウォーキングの普及について     | 他2件 | 11 |
| 2 中河 敏史 議員 | ●平成30年度白糠町エゾシカ有害駆除事業について | 他1件 | 12 |
| 3 石田 正義 議員 | ●農業の振興について               | 他2件 | 13 |
| 4 中村 仁志 議員 | ●小・中学校の学力試験の結果について       | 他3件 | 14 |
| 5 坂本 勝雄 議員 | ●水道民営化について               | 他2件 | 15 |
| 6 鎌田 民子 議員 | ●国保税の住民負担の軽減について         | 他3件 | 16 |
| 7 立石 巧 議員  | ●町有林の風倒木について             |     | 17 |
| 8 折出 征清 議員 | ●増養殖事業について               | 他2件 | 18 |
| 9 福地 裕行 議員 | ●親日国への訪問について             | 他4件 | 19 |



澤原 孝行 議員

現在、実施しているしらぬか健康ウォーキングマップを活用し、今後においてもウォーキング講習会、健康まつりで配布する他、ホームページに掲載するなど普及、啓発を図る。

ウォーキング講習会に大勢の方が参加されていた。今後のウォーキングによる健康づくりとマップの普及を考えた取り組みについて伺う。  
ウォーキングは自分の体力に合わせて手軽に行えることから、健康づくりの一つとして人気が高まっている。ウォーキング講習会を実施し町民の健康づくりに取り組んでいるところである。

## 町

ウォーキングマップを活用し、普及、啓発を図る

しらぬか健康ウォーキングの普及について

南通り商店街には店舗の前にベンチが設置しており、体力に自信がない人でも休みながらウォーキングを楽しめる。商店街の賑わいや買い物にもつながることも考え、商店街を歩くコースを増やす考えはないか伺う。  
ウォーキングの目的は健康づくりにあることから、商店街を歩くコースを増やすことはない。



ウォーキングマップ

## 町

広報等を通じて、PRする

高齢者（65歳以上）の雇用対策について

現在65歳以上の方が年金を受けながら、雇用保険（高齢者給付金）の加入及び受給を受けられる制度があるが、町内で働きたいと思う高齢者がいても容易に求人情報を入手できないため、町に求職紹介窓口があると便利と思うが伺う。  
高齢者の雇用対策としての求職情報の提供であるが、小規模事業者などから必要に

## 町

森林火災対策計画に基づき対応

山林大火災を想定した避難訓練の必要性について

今年、雄武町で大規模森林火災が発生した。白糠町の山林でも山林火災対策を行っているといるが、白糠市街には東山公園から連なる山林があり、火災が発生した場合、住宅地に近いと、多くの周辺

住民への被害が想定される。東山公園一帯の大規模火災を想定した避難訓練の必要性があると思うが伺う。  
町本町における山林火災の予防対策については、山火発生時には、林野火災対策計画に基づき各関係機関が連携して、その対応にあたることとしている。山林大火災の対応については、住民の皆様がその状況と差し迫る危険から命を守ることを第一に行動していただくことや、火災に対する日頃からの備えをしておくことは、市街地での火災に対する備えも同様であると認識している。  
また、気象状況等により延焼の恐れがある場合、町や消防機関は、その状況に応じて適切に火災警報や避難情報を伝達するので、指示に従って安全な場所へ速やかに避難していただくこととなる。  
地域それぞれの状況に応じた避難訓練については、自然災害に限らず火災も含めて検討していただくようお願いをするとともに、今後も防災意識の向上を図るため積極的な支援をしていく。



中河 敏史 議員

プレーの紛失等のやむを得ない事情のあるときは認めてきた。本事業における。確認事項については、①エゾシカを捕獲した日付や地域などを記載した報告書、②エゾシカを捕獲した場所で撮影をした写真、③エゾシカの尻尾の3点を定めており、それらが揃っていれば認めてきた。

### エゾシカ有害捕獲 確認に疑義あり

#### 町 許容範囲で総合的に認識している

捕獲したエゾシカの写真が現地で撮影できない理由としてクマがあるいは危険な場所等とのことだが具体的な内容を伺う。

捕獲をした場所において身の危険を感じた場合やその他、当日の天候、地形条件等により捕獲場所での撮影が困難な場合、カメラ等の電池切れや故障、マーカーをするス

ていける方向で行ってくださることを念願している。

捕獲場所で写真が撮影出来ないとのことだが、理由として、危険な場所があるから、天候が、クマが、カメラの電池切れ、マーキングスプレーを忘れる。これらの理由を確認したら分かる。危険な場所

撮影する。天候の悪い時捕獲に行かない。カメラの電池切れ、マーキングスプレーを忘れるのは稀である。クマはこの期間大部分が冬眠期間中

あり、2人の共同捕獲なので1人が監視し他が撮影すれば事足りるので撮影出来ない理由にあたらぬ。情報公開条例に基づき入手したエゾシカの捕獲写真には報告エリア

(ソ411)外と思われる場所があった。調査したが、捕獲エリアには報告の背景が見つからなかった。写真が報告エリアであることを証明する必要があり、出来なければ許可すべきではない。

報告書、写真、尻尾の3点があれば問題ない。エリア外の立証が出来なければ問題な

い。3点揃ってれば徹底した調査は必要ない。それでも疑義があるなら立証していたら、不正が明らかならば報奨金の返還、許可の取り消しなどを行う。

調査をしたが背景はなかった、現課は調査したか。

調査していない。やる必要は感じていない。3点の理由が整えば、認めざるをえない。それ以上は職員に担当させるわけにはいかない。

町長は情報があればすべて公開することだがそれだけではいいか。

3点で不正が明らかになつたら、立証があった場合、報奨金の返還、有害駆除の許可のありかたを検討する。



### 全国学力テストの結果について

#### 町 英語によるコミュニケーションには成果が見られる

2019年度全国学力テスト中学3年生について語学力に力を入れている白糠町の結果は。

全国の傾向と同様になっている。中学英語の語数21に対し正答数で1.5問の差がある。ALTを増員したことにより授業の連携が図られ「1、2年生のときに受けた授業では英語を聞いて概要や要点をとらえる活動がよく行われている。」との回答が全国を上回っている。英語によるコミュニケーションについては成果が見られ、こんご英文法などの基礎的・基本的な語学力の定着を図りたい。

### 農業の振興について

#### 町 新規就農者を受け入れ支援する

圃和天別地区でレタス栽培に取り組んできたが、本年の取り組みと今後の見通しについて伺う。

平成29年度に新規就農を希望する方を農業支援員として採用し、約7・4畝を、平成30年10月1日から9年間賃貸借契約し、町で借り受け、農業法人の協力を得ながら取り組んできた。しかし、この支

援員の一人上の都合で辞めてしまい、本年度は実施していない。借受けた農地は、希望者が来た際すぐ取り組めるよう土づくりを進め維持管理をしている。農地、栽培技術、資金を総合的に支援する内容をウェブでの情報発信、各種フェアの出店や各農業関連大学等へのPRなど実施している。

この支援員にとどまってもらうよう手立てはなされたのか。

研修一年半を経て取り組んできたが、本人の他業種就職希望もあり断念した。

あの土地をこのままにしておけない。就農希望が出ない時はどう考えるのか。

圃地権者の要望も含め賃貸と言う事で今に至っている。将来農地を所有すると言う部分で検討も必要だが、町が購入するのは法律上問題があり、具体的に支援員が出て来た状況で検討していく。



石田 正義 議員

圃長野県での研修内容について伺う。

圃年3回31日間の研修を実施

### 駅舎、駅前周辺整備の計画について

#### 町 JR北海道と慎重に調整検討中

圃駅舎、駅前周辺整備の進捗

した。5月に8日間、気候風土の違いと対処方法等課題抽出、畝立て・マルチ張り、育苗、苗植等、6月に19日間、育苗、生育管理、収穫作業を体験。3月は4日間で白糠で栽培を前提に土造りや栽培準備の研修を実施した。

圃研修期間をもっと必要だったのではないか。何か見直すべき点はなかったか。

圃長野県研修以外にも野菜生産組合の方や阿寒町、幕別町のレタス栽培農家へ行き研修したり、農業大学校で就農にむけ機械等研修を重ねた現状である。しかし、サポート的に足りない部分もあったかと反省すべき点もあり、それら踏まえて地域活性化支援、野菜農業全般に範囲を広げ地元への受入れ体制をしていく考えである。

### 恋問館の改修について

#### 町 早期に方向性を見出したい

圃町民も大きな関心がある。JRがどのような考えを持ち、いつの時期に具体的話し合いが持てるのか。

圃建物はどうなるか、互いの負担がどうなるか、JRにも検討していただいている。年度内にはその方向性を見出していきたい考えである。

圃恋問館の改修計画と見通しについて伺う。

圃築後27年を経過し建替時期にある。しらぬか物産センター1恋問館改築に関する要望書が白糠振興公社から提出され、施設規模、運営の在り方

等、様々な課題が想定される。建物の規模、資金調達、振興公社との関わり方を含め早期に方向性を見い出したい。

圃年度内の見通しは立たないのか。

圃民設民営化、公設公営等基本的設計が具体的にしなければならぬ。

圃最近、方向性を示した中で運営する組織を公募して、全面的にやっていくシステムが多い。町も焦点を絞ったうえで検討していかなければと考えている。

圃3月で閉店となったコンビニ二跡地、地権者と協議し、有効活用できないか。

圃建物施設等を恋問館の運営の中で活用することは難しいと考える。

圃地権者とそのような話し合いをする考えはないのか。

圃恋問館の方向性が見えない限り無理だと思ふ。



中村 仁志 議員

### 学力テスト町内校の結果は全国・全道のどの位置にあるのか

#### 町 全国と比較し、やや低い状況

町 本年実施した学力テストで道内の小・中が全国平均を下回る結果となったが、町内校の結果は全国、全道平均点のどの位置にあるのか、結果から考察と今後の取り組みについて伺う。

町 小学校は国語については全国の正答率を上回る結果だが、算数は、全国の正答率よりも

やや下回り、中学校は国語、数学、英語全てにおいて、全国、全道の正答率を下回る結果となった。テストを通して様々な課題が明らかとなった。この課題等の解決を図るための取り組みとして、各学校に対し、本調査の結果分析を教職員全体で共通理解を図り、校内研修等で課題解決に向けた具体策を講じたりするよう指導助言したい。基礎的・基本的な学習内容の定着に課題を見られる児童生徒に対しては、小学校においては放課後学習サポートの取り組みを図り、中学校は、放課後等に補充的な学習を推進し、家庭学習の充実を図るなど、より一層教師の授業力の向上と同時に、子どもたちの確実な学力の定着に向けた取り組みの強化等を図る。

### グラウンドの利用計画は

#### 町 町営球場の機能を移転し活用

町 庶路中学校跡地の利用計画

について、29年6月定例会で質問した回答では、校舎移転後も有効に活用すべきと考えているとの答弁だったが、その後の検討と方向性を伺う。

町 庶路中学校跡地のグラウンドは、水はけや立地条件が大変良い施設であることから、今後は野球場としての整備を行い、老朽化している町営球場の機能を移転することで最大限に有効活用できるものと判断している。また、野球場以外の利用計画については、本年度中にスポーツ団体等の意見を伺いながら、取り進めたいと考えている。

### 防災備品に液体ミルクの設置を

#### 町 今しばらくその動静に注視し検討

町 30年12月定例会で質問したが、液体ミルクも各自自治体も設置するところが出てきている。町としても災害時の備品として設置が必要と思うが見解を伺う。

町 飲料水の調達が難しい場合



もある災害時に「液体ミルク」は、水が不要で衛生的でもあり、開封後すぐに授乳できるとして、母親等の負担が減るというメリットから、全国的に非常用備蓄品として整備している例もある。釧路管内は、試験的に総量の一部を更新し、採用を検討している自治体があるが、本町としては単価や賞味期限の短さ等を鑑み、製造メーカーがよりコストが安く、日持ちのする商品となるよう改善されることが望まれ、今しばらくその動静に注視しながら、整備に向けて検討したい。

### 車の急発進防止装置の補助金の支援を

#### 町 当面、自助努力でお願いしたい

町 高齢者の運転する車が市街

地を暴走し、歩行者が犠牲になる痛ましい事故が各地で相次いでいる。その多くがアクセルとブレーキの踏み間違いに起因したものであり、ここに焦点を当てた対策が必要と思う。高齢者運転に交通事故の防止策を大きく前進させるには、後付けの安全運転支援装置の普及にかかっていると、自助努力は必要であり、事故を減らす手段としては補助金によって一人でも多く取り付けられたいと思う。町 本来であれば、安全な車を作るのがメーカーの責任であり、現状では、急発進防止装置は個人の事故防止の手段として有効であると言われている。この装置の存在を知らない方が多くいることも事実であり、メーカーなどがPRすべきと思う。この装置を取り付けるだけで安全になるという誤解を与えてしまう心配があり、高齢運転者は、運転能力に個人差があり、自分の判断で急発進防止装置を必要とする方は、自助努力として装着することが基本と思う。い

### 水道民営化の考えは

#### 町 町が健全な事業運営を行う

町 昨年12月に水道法の一部改正により、水道施設の所有権を地方公共団体が所有したまま運営権を民間事業者を設定する水道民営化ができるよう改正されたが、町に民営化の考えはないか伺う。

町 国は、給水収益の減少、施設の老朽化、技術職員の人材不足などの課題を解消すべく官民連携の推進として運営権を民間に設定する仕組みを導

### 上水道施設の更新計画について

#### 町 計画的に更新を実施

町 上水道事業が供用されてから、すでに法定耐用年数を超えている施設もあると思われるが、現状の対応及び今後の取り組みについて伺う。

町 現在までに4回の拡張工事を行ってきた。その中で、白糖浄水場は、昭和52年より供用を開始し42年を経過しているが、電気設備、機械設備等については、計画的に更新を実施してきた。法定耐用年数

を超えている設備については、浄水場の浄水地配管設備(耐用年数40年)、薬品注入設備(耐用年数15年)があり、この整備については、令和2年度、3年度で更新を計画している。水道管については、耐用年数40年で、令和4年度から重点的に更新をすべく、現行の料金体系を維持した中で経営状況を見込み、資金が枯渇しないよう、計画をしている。なお、法定耐用年数を超えた設備でも支障なく使用できるものは、修繕で対応することもある。

か。また管について法定耐用年数を超えているものもあると思うがどのくらいの割合かその更新はどのように考えているのか伺う。

### 庶路学園、二宮像の鳥の糞害について

#### 町 周囲にテグスを張り対策する

町 庶路学園から西庶路市街地を見渡す丘の二宮尊徳像が鳥の糞害で見るとも無様な姿である。町民の憩いの場として尊徳像に東屋の設置を検討してはどうか、考えを伺う。

旧庶路小学校に設置されていたもので、この像の鳥の糞害については、庶路学園の周辺には朝方や夕方に多くのカラスが飛来しており、小高い場所に設置している像にもカラスが止まることが多いためと考えている。町民の憩いの場として尊徳像に東屋の設置については、二宮尊徳の負薪読書像は、薪を運ぶ時間を惜しんで勉強に励む姿を表しており、東屋に囲われた姿は、本来の勤勉の象徴にはなじまないことから、できるだけ景観に影響が出ない対策として、周囲にテグスを張って防鳥対策を講じるとともに、今後は、地域、学校が定期的な清掃活動を行ったり、子ども達の手による糞害対策を考えさせる等、自校のシンボリックな存在をより一層意識し、大切にすることを意識を高めさせたいと考えている。



白糖浄水場

町 上水場の施設更新は、令和3年度完了という認識で良い

坂本 勝雄 議員







鎌田 民子 議員

### 子どもの国保均等割 保険税軽減の検討を

担を求める制度となっている。均等割保険税の軽減の検討については、全道各地で開催されている連携会議等で議論がされているので、現時点では町単独での軽減措置は考えていない。国の動向を注視し、情報収集に努め、制度改正等があった場合は、議会に相談し取り進めたいと考えている。

子ども均等割を全額免除した場合の必要額の試算は、平成30年度実績で18歳以下で、573万6720円。

### 災害時における避難対策は万全か

### 町単独では考えていないが国の動向を注視する

### 安心安全の体制を構築してきた

町単独では考えていないが国の動向を注視する

避難所、福祉避難所、在宅避難の現状と課題は  
避難所は民間施設（清和園えぞりんどうの里）を協定により指定している。在宅避難については、大規模災害時に指定避難場所や避難所に避難した後に、自らの居宅が安全

### 学校健診の結果に対し、各家庭の受診状況は

### 新年度の予算発表は議会を優先すべきではないか



実情として再受診をしない家庭もあると聞く。

ペット対策については、ペットは、家族の一員と考えている方が多いことから、適宜に配慮しなければならぬ。部屋等の用意が出来ない場合は各自の責任においてケージの用意など、準備をしてもらうなどの啓発は必要と考える。

### 慣例にならって実施、他意はない

町議会への報告よりマスクミ発表を優先してきた理由はなにか。  
就任前からの慣例にならって実施してきた。他意はない。今後は、新年度予算案の概要版の事前配付について、議会とも相談したうえで、検討していく。

### 再受診をしない家庭もある

学校健診の結果に対して各家庭の受診状況をどのように把握しているのか。受診に結びついているのかどうか。  
保護者へ結果を通知し、医師、又は保護者が必要事項を記入したものを学校へ提出してもらい受診状況を把握する。



立石 巧 議員

### 風倒木の始末はどうする

### 町 間伐等の造林事業と併せて進める

近年、相次ぐ台風等により山林内の風倒木が増えている。始末が進んでいない状況だと思ふ。町有林内の風倒木処理はどうなっているのか伺う。

町有林内の風倒木の調査はどのように行い、どの程度の被害があったのか。

被害の調査については、台風等の災害発生後、職員による巡回や町有林野監視人、くしる西森林組合の方々と被害状況の把握に努めている。これまでの被害状況であるが、平成28年度に多発した台風等により、16地域の町有林に風倒被害が見られる。総面積の約1.5%に相当する約47畝が被害にあった。平成28年度、平成29年度において風倒木整理を行ったところである。今後についても、巡回や関係者との情報を共有しながら速やかな対応に努めたい。地形的に入林が困難な所はドローン等を活用し、上空からの確認を検討したいと考えている。

ドローン等を活用の他に何か考えがあるか。

被害状況の把握の手法については従来通り目視による調査、確認を推進していく。



台風等による風倒木

風倒木の搬出を含め、どの程度の処理を行ったか。

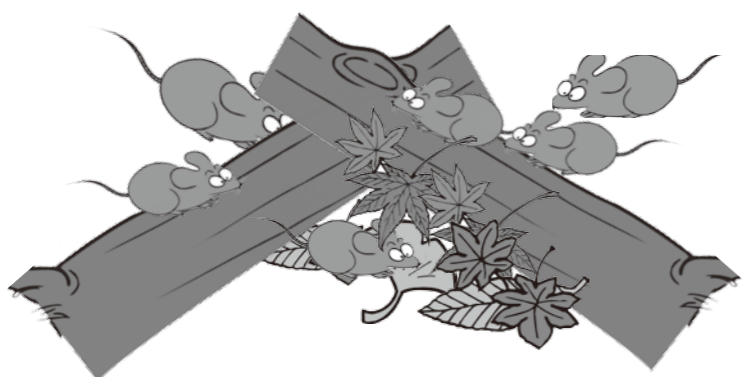
奥滝ノ上町有林や馬主来町有林等で著しい風倒被害が発生し、これについては、整理を行った。また、他の町有林についても風倒被害が見られているが、効率的な施策を図るため、間伐等の造林事業と併せて年次的に整理を進めている。

ながら、事業推進していききたいと考えている。

路網の整備されておらず、搬出できない風倒木について、そのまま放置することにより野鼠の巣となり、被害が増えることも想定されるがどう対応するのか。  
路網の整備については、間伐等の造林事業と併せて実施することで作業道を確認し、立木の搬出を行って来た。野鼠被害対策についても、造林事業実施箇所の周辺において野鼠の駆除を目的に殺鼠剤の散布を行っている。放置された風倒木による野鼠対策については、間伐事業の中で鋭意進めている。

野鼠の散布の対策としては、年何回予定しているのか、また、効能の方はどうか。

野鼠の散布については地区ごとに年3、4回予定している。今後においても地区を選定して、森林組合と連携を図りながら、対策を講じていきたいと考えている。





折出 征清 議員

不漁対策を急げ

増養殖事業が具体化した時点で積極的に支援する

本町の基幹産業である漁業については、ここ数年かつて経験したことのない不漁に見舞われ、漁業者は勿論のこと、漁協の運営にも大きな影響を及ぼしている。昨年、70年ぶりに漁業法の改正により民間企業が漁業に参画できることになったことから、全国各地で民間企業による展開し

始める中、我が町も思い切つて民間の力を借りながら「獲る」漁業から「つくり育てる」漁業として増養殖事業を陸上、海上を含め、検討すべき時期に来ていると思うが考えを伺う。
[町] 町の第一次産業の中核を担う漁業は、町の発展を支えてきた主要産業であり、これまでサケの中間育成事業やしゃもの人口ふ化事業を実施するとともに、タコ産卵礁・漁礁の整備などの推進により水産資源の維持増大に努めてきたが、近年の不漁によりかつて経験のないような厳しい状況下にある。漁協では、安定的な漁獲確保を図るために漁獲量を自主規制等を行い水産資源の確保に努めているが、現在のようない「獲る」漁業だけでは先行きが不安であることは十分認識をしております。漁業法改正を契機に、民間企業の力を借りた増養殖事業にも取り組む時期に来ていると判断している。漁業者自らの取り組み、漁業者が民間企業の力を借りての取り組み、民間企業による取り組み、前浜だけではなく陸上での事業の可

漁業振興基金について

基金の積戻しはしない

漁業振興上、貴重な財源である漁業振興基金は、ピーク時の5億円から現在は2億円を割る状況になっている。今後、天蓋施設の建設や漁港施設の改修等大型事業が計画されており、漁業振興基金の活用が増えてくると思うが原資の積戻しも含め、漁業振興基金のあり方について考えを伺う。
[町] 漁業振興上、貴重な財源である漁業振興基金は、ピーク時の5億円から現在は2億円を割る状況になっている。今後、天蓋施設の建設や漁港施設の改修等大型事業が計画されており、漁業振興基金の活用が増えてくると思うが原資の積戻しも含め、漁業振興基金のあり方について考えを伺う。

町内スポーツ施設の整備について

施設整備に係る年次計画案を策定

漁業振興基金は、平成7年に締結された庶路ダム建設に関わる協定の規定に基づき、町と漁協との間で締結された付属協定により、水産資源の保全と増大に資するため必要な事業へ活用する基金として5億円を創設し、その利子を庶路川ししゃもふ化場の施設運営費等に充てる果実運用型基金として活用してきた。しかし、平成23年に漁協からの要請により、沿岸漁業の振興に資する必要な事業に原資を活用できるよう取り崩し型基金として条例改正を行い、漁協との協議の中で適切な運用を図った。したがってこの基金の原資については積戻しするという性質のものではない。今後における漁業振興については漁協との協議の中で、出来る限りの支援をする。
[町] 施設整備に係る年次計画案を策定
我が町の今後における少子

高齢化の現状を踏まえたスポーツ施設のあり方を将来構想の中で順次整備していくために、500万円の予算計上をしてスポーツ施設等基本調査業務を行ったが、その調査内容・調査結果について伺う。
[町] 将来を見据えたスポーツ施設の配置やあり方、有効活用について検討が必要と判断し、白糠町スポーツ施設等基本調査を実施。調査内容は安全性・機能性・経済性・耐震性・利用状況を調査し、利用者へのアンケートを実施。この結果により施設整備に係る年次計画案を策定した。本年度、各スポーツ団体等の意見を伺い、年次計画を決定する。

アンケート調査の対象人数と内容は。
[町] アンケートの内容は、利用頻度・利用時間・利用目的・交通手段・施設の改善点等を町内全施設の利用者を対象とし、350票の回答を頂いた。

外遊の成果を活かして

機会あるごとに話したい

移民政策に則り北海道からブラジル・パラグアイに移住し、開拓の苦勞をされた方々を慰問・激励する慶祝団の一員として参加された。絶大な両親日国に赴き人生観も変わったのでは、と期待もするが、貴重な経験を町民、特に青少年に還元すべきである。
[町] 両国の文化や歴史に触れることが出来たこと、また、先駆者が両国の国づくり、地域

づくりに多大な役割を果たして日本との交流の礎となられたことに深い尊敬と感謝の念を覚えたが、機会あるごとに話したい。
[町] 町道民、そして町民も自信と誇りを失いかけて、いつしか伝えていることが、大事である。
[町] 町広報紙を活用する。
[町] 役場中、同じカレンダーは何だ
[町] 使い勝手の良さを

使い勝手の良さを

些末なこともしっかりできなければ大局観に立つ町政・まちの再興など覚束ないが、庁舎内に一つの会社のカレンダーが異様に掲示されている何の思惑か。
[町] 使い勝手の良さから。
[町] 熱心な社長であることは十分承知もしているが、利害関係のある取引業者である。社会通念上もあり得ないことだ。27ヶ所だが、配慮に欠けた。今後は十分意を用いる。

福地 裕行 議員



ドッグランの設置を

設置に向けて取り組む

犬を自由に走りまわらせたことへの思いが強く寄せられるが、町有地に設置できないかの整合性を検討し、設置に向けて取り組む。
[町] 高齢者への癒しの場の提供や交流人口増による賑わいの創出にもつながる。土地は余るほどあるし、事業費も問題ない。また管理も難しくないので本町と西庶路に。
[町] 多くの人に利用していただきたいので慎重に検討する。
[町] 町外から来た方の熱意を活かせ

発表の場の確保にも意を用いる

地域おこし協力隊員や地域活性化支援員、並びにALITが活躍されているが、町民との協働のまちづくりに資する
[町] 発表の場の確保にも意を用いる
町外居住者は何名か、いるとすればはもってのほか。15名が活躍中。町外居住者は2名。

バスの利用料、100円に

協議会に相談し、総合的に検討

町営バスの利用実績は。
[町] 平成30年度 白糠コミュニティバス1707人、庶路・西庶路コミュニティバス3234人、茶路沢予約制バス1652人、庶路沢予約制バス79人。計6672人。
[町] 70歳以上の利用割合と収支内訳は。
[町] 8割ほど。利用料合計89万7170円。運行委託料は、1988万8429円。
[町] 高齢化率を鑑みると、孤独が大きな社会問題である。特にわが町はますます人口が減り高齢化率も上がるが、外出し、ふれ合う機会を増やすことが生きがいにもつながる。70歳以上の町民の利用料を一律1回100円にできないか。毎年開催する協議会で相談する。
[町] 特に遠隔地の1回500円は高いし、車の免許証返納のことも考慮しなければならぬ。
[町] 総合的に検討する。

議会広報研修会 8月19日、20日

Date

8月20日に札幌市ポールスター札幌で月刊総務「豊田編集長を講師として、議会広報研修会が開催され広報・調査特別委員会委員3名が出席いたしました。

「読者目線で親切な広報誌を作るには～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～」をテーマとして、議会広報紙を読んでいただくためには専門用語の羅列をしない、全部載せようとする等の紙面作成についての研修を受けた。



議員協議会 9月13日

JR古瀬駅の廃止について

○JR古瀬駅の廃止について(町長より報告)

JR北海道が全道的に色々な見直しをしている。正式には10月に、乗降客が非常に厳しい駅について、廃止の方向で協議している。

JRは、毎年一回調査を決められた区間の中で、実施し、古瀬の駅については、乗降客、定期券も30年度は0件ということで地域の方が利活用している状況が現状では見受けられない。JR北海道として、古瀬駅を廃止という方向で、執り進めをしたいというお話でした。

【議員からの質疑】

■駅舎がなくなった場合には、手前の踏切は、どうなる。

■踏切をなくすというお話は聞いていません。

■古瀬駅も秘境の駅としての注目度も相当上がっている。JRに交渉して、モニュメントというの



か、何かのかたちを残していただきたい。  
■JR北海道から正式な話があった時には、イベント的な事やモニュメント的な事も含めて、検討していきたい。

新任議員研修会 7月9日、10日

本年度、議会議員に当選した新任議員2名が、7月9日に札幌市第2水産ビルにおいて北海道町村議会議長会主催の研修会に参加しました。議員の基本使命、会議原則、会議の進め方、請願・陳情の取り扱いなど、新任議員としての基本的な事項や心得について研修した。また、議員の福利制度、公務災害補償制度などの説明を受けた。

新任議員の所感(抜粋)

議員の基本使命として、住民の代表者であることを念頭に、意思研究をして、感情に走らず、冷静に議論し、議会の公務を優先に出席義務を果たし、議会規則を守り、研修で学んだことをこれからの議会運営と議会活動に活かします。

総務文教・産業厚生両常任委員会 8月26日 所管事務調査

Date

白糠小学校移転計画に関すること

○白糠小学校移転計画の取り組み状況等について

台風や局地的な豪雨等の発生により茶路川増水、氾濫の危険から白糠小学校に通学する児童の安全を確保することを最優先に考え、白糠小学校と白糠中学校を統合し、小中学校の一体型校舎において9年間の連続性や系統性を高める小中一貫教育を推進していく。また、幼保・小・中の連携がより重要であり、スムーズに取り組みする一体型施設が子ども達にとって最適な教育環境であることから、新たな認定こども園につきましても統合校舎に併設する。  
《今後のスケジュール》

今年度中に

・白糠小中学校統合事業と新たな認定こども園の

新築を含めた基本設計委託

- ・近隣の避難場所の実設計
- ・避難路整備等の実設計

令和3年度

・白糠小中学校の統合事業、新たな認定こども園の建設に着手。

【議員からの質疑】

■一番怖い、津波対策をどうされるのか。

■大津波、巨大地震が発生した場合の大津波の対応は、今回整備をする避難場所に対応する。

認定こども園等の民営化に関すること

○認定こども園等の民営化について

前回、全員協議会で民営化についてのスケジュールが示されているのでその経過を調査いたしました。

- ・民間事業者への公募を実施
- ・民間事業者の面接審査を実施し7月3日に決定
- ・予備協定の締結(8月1日締結)
- ・基本協定の締結の事務を執り進め
- ・財産無償貸付を9月定例会で議案の上程

- ・3月定例会で条例改正・廃止の議案の上程
- ・4月より民間事業者による運営開始

【議員からの質疑】

■白糠の園児が大変恵まれた環境の庶路こども園に行くのではないかと、ということも懸念されるが。

■白糠地区の方は、仕事が釧路の方にされている方ということで認識しております。

産業厚生常任委員会 10月9日

所管事務調査

第一次産業の振興・発展に関すること

○新規就農対策の現状と今後の取り組みについて

新規就農者向けの支援制度創設内容、新規就農希望者の現在までの募集方法と今後の募集方法の確認をし、問い合わせ件数などを確認した。

【議員からの質疑】

■12月30日募集締め切りの地域おこし協力隊員の今現在の応募状況は。

■2名(男女各1名)の応募があり、1次選考を通り2時面接後に本人からの事態の申し出があり採用に至らなかった。

○マツカワ放流事業の概要と実績について

マツカワ魚種は乱獲により漁獲が激減し釧路管内漁協と沿岸自治体で組織する釧路管内栽培推進協議会が、種苗を購入し放流事業を実施している。放流をしてからは、管内の漁獲量は16t前後で推移していることを確認した。

しらぬか物産センター恋問館の改築に関すること

○現時点における道の駅改築構想について

今後の施設等整備における事業方式について、次の4つがあります。

- ①公設公営方式…町が財源確保から施設の設計・建設、運営等のすべてを行う方式。運転業務を民間に委託する場合も含む。
- ②公設+長期包括委託方式…運営に関しては民間事業者に複数年にわたり委託する方式。
- ③公設民営方式…町が資金調達をし、施設の設計・建設、運営等を民間事業者に包括的に委託する方式。
- ④民間民営方式…民間事業者が資金調達をし施設の設計・建設、運営を行う。

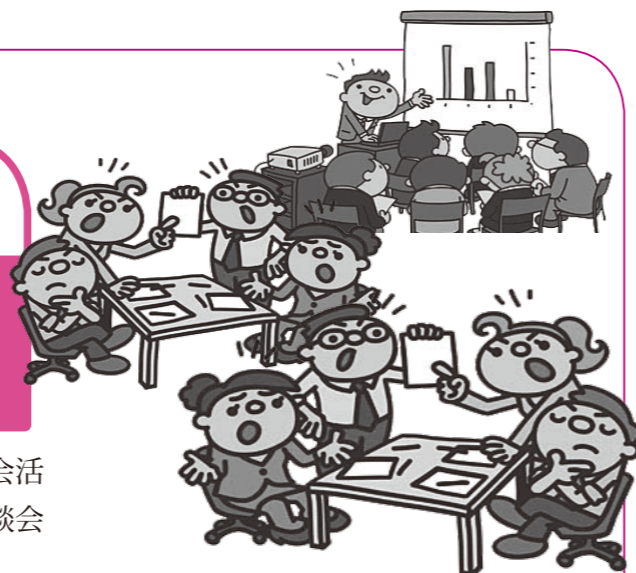
この4つの方式で、先進的な道内の道の駅を参考に検討することを確認した。

議会改革・活性化特別委員会

「みなさまの声」を聞かせてください

町民と議会の懇談会

議会では、町民の皆さんと地域の課題について、今後の議会活動に役立てながら、町民と協働のまちづくりを進めるため懇談会を開催します。



●庶路・西庶路市街、庶路沢の住民  
とき／**11月8日 金 午後6時30分**  
ところ／**西庶路コミュニティーセンター 1階研修室**

●白糠市街、茶路・和天別沢の住民  
とき／**11月14日 木 午後6時30分**  
ところ／**社会福祉センター 2階研修室**

※各町内会にもご案内を差し上げてます。

当日スケジュール

- 6:00 受付
- 6:30 開会
  - ・主催者挨拶
  - ・趣旨説明
- 6:40 地域の意見交換
- 7:40 出前懇談会説明
- 8:00 閉会

「みなさまの声」を聴きに伺います

議会の出前懇談会

議会では、議会との懇談を希望される団体やグループがいつでも、どこでも懇談できるように出前懇談会を開催します。

開催方法・要件

申込／懇談したいテーマがありましたら、開催希望日の2週間前までにお申し込みください。

テーマに応じて右記の分科会が、希望する日時・場所に伺います。ただし、議会期間中はご遠慮願います。

対象／町内在住で5人以上出席見込みのある任意の団体やグループです。

進行／懇談会の進行は、申込者がお決めいただいても結構です。



議会改革・活性化特別委員会組織

総務・文教 分科会 (防災・教育・その他)	産業・厚生 分科会 (産業、民生福祉)
議会運営 分科会 (議会運営)	広報・広聴 分科会 (議会だより)

※本委員会では、4つの分科会を組成しております。

お申し込み・お問い合わせ 白糠町議会事務局 〒088-0392 白糠町西1条南1丁目1番地1

●電話：01547(2)2171(内線303) ●FAX：01547(2)4659

議会の出前懇談会については、FAX・メールでも申込みできます。

●メール：giji@town.shiranuka.lg.jp (件名に「議会の出前懇談会申込み」と記載願います。)

●申込用紙 白糠町ホームページから入手できます。(郵送でも受け付けます。)

議会改革・活性化特別委員会

8月5日、10月9日

Date

町へ提言書提出

8月5日の本委員会では議会運営分科会から提出された提言書(案)を本委員会で審議し、本委員長より議長をとおして町に対し提言書を提出いたしました。提言・町からの回答内容(抜粋)は下記のとおりです。

提言1 新年度予算提案説明の簡略化について

新年度予算は、所管の部長が長時間かけて説明後、予算審査特別委員会を開会し審査をしている。

予算審査特別委員会の審査の充実を図るため、本会議での提案説明は総括説明に留めるなど簡略化に努め、予算書の補足説明程度の資料を提供するよう検討されたい。

〔案〕新年度予算に向け、説明の簡略化、審査の充実のため、説明の方法、提出資料のあり方などを含め調査検討する。

提言2 決算審査特別委員会の運営について

9月定例町議会の会期を延長し、会期中に集中して効率的に決算審査特別委員会を開会し審査することで、執行機関においても現年度の業務の遂行及び

新年度予算の早期検討が図られることから、会期の日程調整を検討されたい。

〔案〕9月定例町議会会期中に決定審査特別委員会の審査を、令和元年9月9日から9月17日までの日程で調整願をお願いしたい。

第3回定例会会期中に決算審査特別委員会を設置し、平成30年度決算を審議し、本定例会で可決されました。詳しい内容は、2ページからの平成30年度決算をご覧ください。

提言3 旅費条例の見直しについて

昨今の訪日外国人観光客の増加に伴い、宿泊料金が高騰している。道内外のホテルでは旅費条例に規定する宿泊料金では不足し、規定料金内のホテルを予約することも難しい。今後、消費税増税及び宿泊税導入などを見据え、旅費条例の宿泊料金見直しが必要と思われるので検討されたい。なお、検討にあたっては、地域によって低額なホテルも存在することから、現状に見合った宿泊料金体系も必要と考える。

〔案〕早期実施に向け調査、検討する。

〈提案事項〉

- 議会運営分科会  
予算・決算審査特別委員会の正副委員長を全議員、(議長を除く)による順番制にすることについて
- 広報・広聴分科会  
会議録のホームページへの掲載について  
※上記2案については、実施する方向性で次回委員会で詳細を協議する。

行政視察の受け入れ

- 7月17日、厚沢部町議会  
・義務教育学校「白糠町立庶路学園」について
- 8月23日、茨城県つくば市議会つくば市政クラブ  
・移住体験「ちょっと暮らし」について
- 10月1日、占冠村議会  
・「ふるさと納税」について  
・「小水力発電の水素利用」について
- 10月10日、神奈川県清川村議会  
総務文教・企画振興常任委員会  
・義務教育学校「白糠町立庶路学園」について

- 10月11日、幕別町議会  
・「庶路こども園」について  
・「太陽の手子育て支援事業」について



占冠村議会議員



## 白糠いい店 こんな店

今号でご紹介するのは、江戸東姉妹店の「味そば処三浦」さんです。

お昼時には、サラリーマンの方が、週末には家族連れの方、最近では、女性だけのお客さんも増えています。忙しい時間帯にはパートさんも雇っていますが、店主のお母さんとの二人でお店を切り盛りしております。

店内はテーブル席、カウンター席、座敷がある店構えです。

蕎麦は、クロレラを練りこんだ緑色のお蕎麦で、滑らかな食感で喉越しも抜群です。揚げたての大きな海老天が魅力の「天ざる」や3月までの季節限定で、ぷりぷりした大きな牡蠣が5個も入った「牡蠣そば」がオススメです。

定番の蕎麦の他、丼物まで楽しめる同店へ、ぜひ一度足を運んでみてください。

来店できない場合でも出前も行っています。

- 住所：白糠町東2条南2丁目2番地9
- 電話：(2) 2777
- 営業時間：11時00分～19時00分  
準備時間：15時00分～17時00分  
(月曜定休)

## 味そば処 三浦



▲店主の三浦輝之さん



【おしらせ】味そば処 三浦さんからのご提供～2名以上のご来店での注文の際「議会だより見たよ」で、おいなりさんをサービス。(本年11月25日迄。お一人様一回限り)



## あしがき

議会改革・活性化特別委員会の各分科会は協議事項の具体的検討に入りました。

広報・広聴分科会においては「町民と議会の懇談会」を提案し、町民との対話を大切にして参りたいと考えております。「議会だより」も議会活動を広く知っていただくため、手に取って



議会だより校正の様子

見たくなるよう、表紙には町民の笑顔等、感動を与える知恵を出して参ります。皆様からの声をお待ちしております。

(小野)



## 今号の表紙



今号の表紙は、「旗の波作戦」に参加した園児と児童です。秋晴れのなか車がとどるたびに一生懸命に交通安全の小旗を振りドライバーの皆様交通安全を呼びかけました。子どもたちの笑顔を守るため、交通ルールを守りましょう。